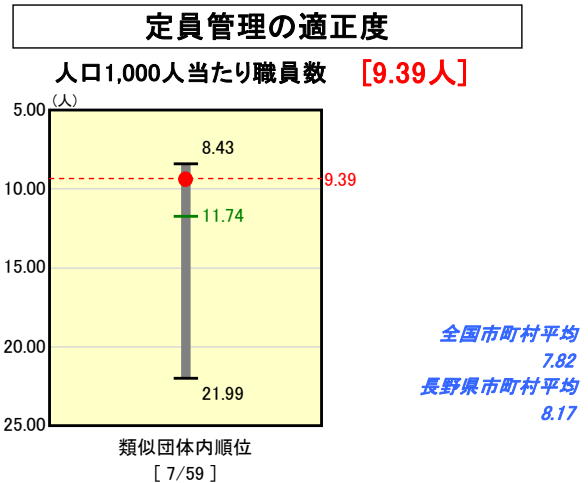
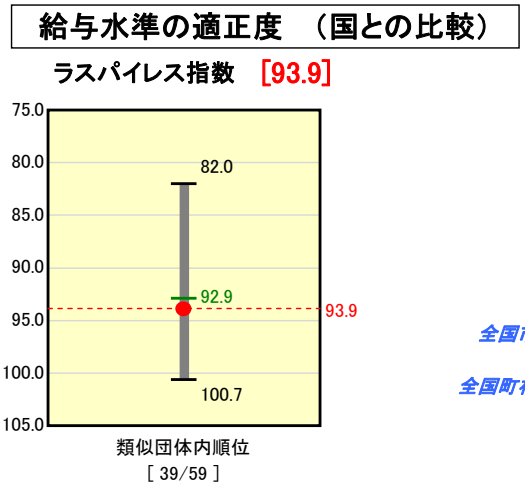
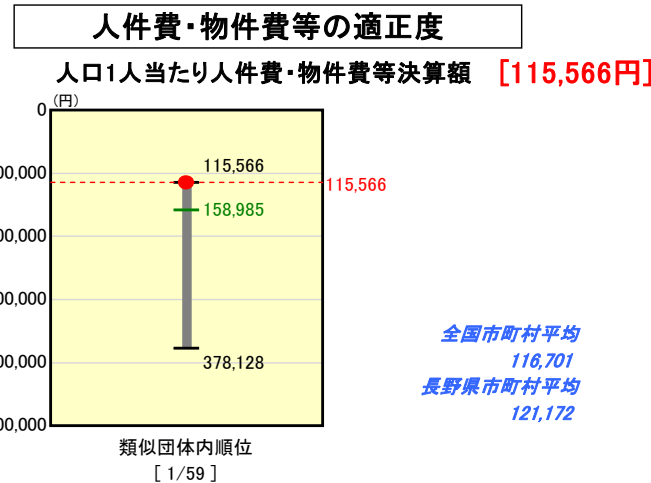
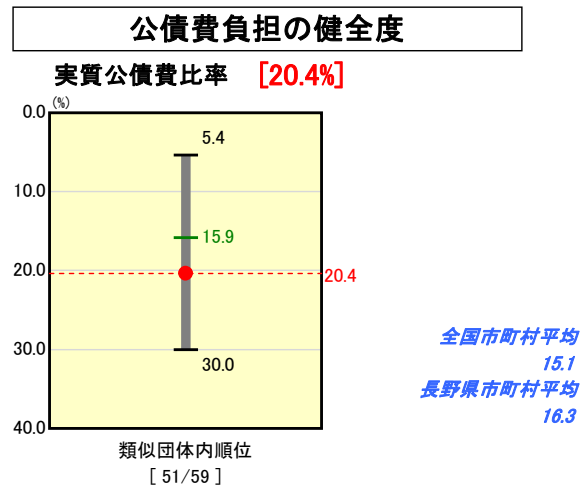
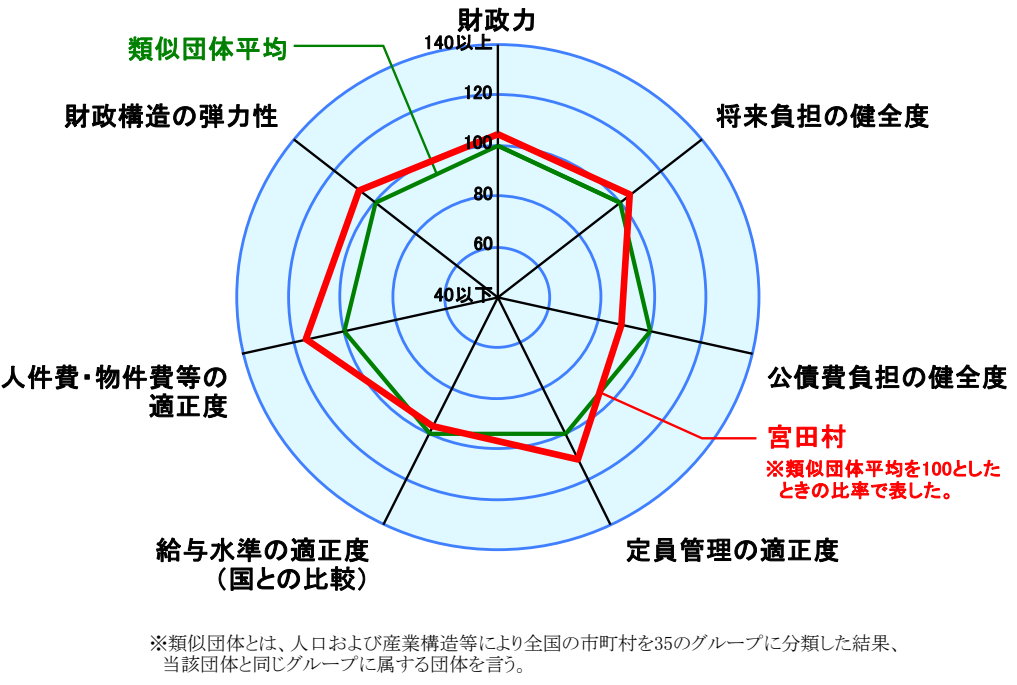
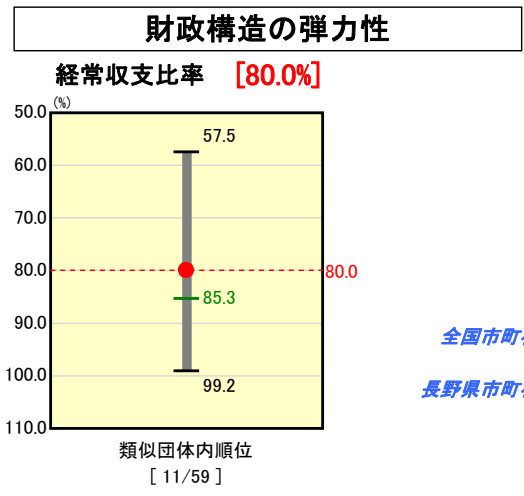
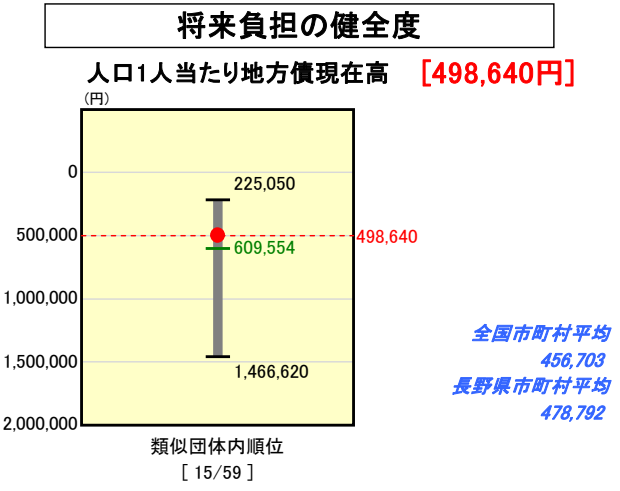
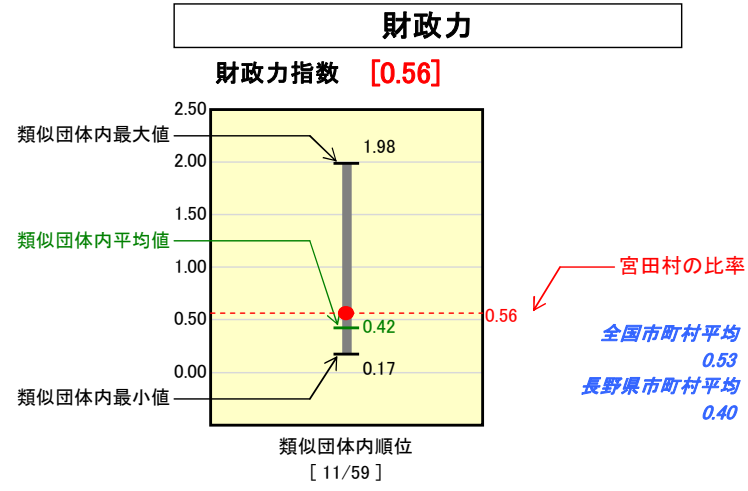


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

長野県 宮田村

人口	9,159 人(H19.3.31現在)
面積	54.52 km ²
歳入総額	3,440,190 千円
歳出総額	3,267,220 千円
実質収支	164,055 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

◇**財政力指数**
ここ数年連続した伸びをみせており、全国町村平均0.53、県下市町村平均0.40を上回る0.56となっている。景気の堅調な伸びに支えられ法人住民税を中心に村税収入が大きく伸びたことが要因として挙げられるが、昨年末からの原油高騰など景気動向に先行き不透明感も出てきている。集中改革プラン、財政計画等に基づき歳出削減を進めるとともに、税・使用料など一体的にとらえ滞納解消、収納率の向上に努めていく。

◇**経常収支比率**
義務的経費が歳出総額の約半分を占める状況が続いており、経常収支比率も80%を超えた。職員数の削減により人件費は減少してきているが、扶助費、公債費は増加傾向にある。公債費については、償還のピークを迎え6億円程度で推移している。特に19年度から公的資金の繰上償還を行っていくことから、しばらくは高い状況が続くと思われるが、23年度以降は4億円を下回っていく見込である。

◇**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**
人口1人当たりの人件費・物件費等決算額については、人員削減、給与の減額、事務事業の見直しによる物件費の削減、住民基本台帳・税関係などの電算処理業務、ごみ処理、消防業務など広域対応により進めてきた結果、類似団体、市町村平均等と比較して低い状況にある。特に59ある類似団体の中で一番低い状況となっている。今後も引き続き、指定管理者制度の活用、民間委託の推進などによりコスト削減を図っていくとともに、上伊那広域連合、伊南行政組合等への負担金、繰入金等についても抑制していく必要がある。

◇**ラスパイルズ指数**
類似団体の平均値を1ポイント上回っているが、全国町村平均と同じ93.9となっている。人事考課制度の導入により年功序列的給与体系の見直しなど給与の適正化、人件費の削減に努めていく。

◇**人口1人当たり地方債現在高**
類似団体との平均値比較では低いが、全国・県市町村平均と比べると高い状況にある。これは、平成4年から10年にかけて村民会館、保育所、村営住宅、デイサービスセンターなど大型施設の建設、道路整備など集中して進めてきたことが要因と考えられる。起債残高の縮減に向け、引き続き起債発行の厳選、抑制に努めていく。また、19年度より3年間公的資金の繰上償還を行っていく。

◇**実質公債費比率**
起債償還のピークを迎えていることにより類似団体、市町村平均を大きく上回る20.4%となっている。数年は引き続き高い状況が続くと考えられるが、それ以降は、基金繰入による公的資金の繰上償還を実施することもあり大幅に減少していく見込である。

◇**人口1,000人当たり職員数**
職員数については平成14年度と19年度の比較で23人の削減を行ってきた。類似団体平均との比較では、2.35ポイント下回っているものの、県市町村平均と比べると1.22ポイント高い状況にある。引き続き集中改革プラン、財政計画等に基づく民間委託、指定管理者制度の活用などにより適正な定員管理に努めていく。